



2025年



二葉幼稚園

園のたより

4月

年間主題 ともに



4月の聖句 あなたがたは神に愛されている子どもです イザヤ書43編5節

4月のさんびか ちいさい おてて ようじさんびか5



だいじょうぶ / 神さまに愛されて

保護者の皆様、お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます。85名の子ども達と、パワーアップして二葉に帰ってきた2名の保育者を迎えた15名の教職員とで、神さまとともに希望の一步を踏み出します。別れと出会い、喜びの再会の春です。

春休みの延長保育『めぐみルーム』最後の日は、卒園児も転出児も在園児もみんな園から、友達から、先生達から別れがたく、何度も何度も抱きしめあったり、思い出話に花が咲いたり、笑いと涙の穏やかで優しいときが流れました。と！小学校1年生の◆君が「○○の帰り！」と遊びに来ました。◆君は在園中、毎日のようにめぐみルームで過ごしていました。この日、悶々とする事があったようで、懐かしいめぐみルームの先生の片づけを手伝いながら「あのな〜」と心の内を話していました。先生は◆君の話に「そうなんやね〜、うんうん」と相槌を打ちながら、時に真剣に、時に二人で笑い飛ばしながら、夕暮れ時を過ごしていました。◆君は今ハマっている折り紙の作品を先生に渡し、折り方や遊び方を伝授していました。「もうだいじょうぶ。」

帰るわ。また来るな。」◆君はさわやかな笑顔で帰っていきました。2,3日後、約束通り、◆君はまた遊びに来ていました。クラスに関わる先生達だけじゃなく、「めぐみルーム」の先生達からもしっかりと愛され、異年齢の子ども同士が育ち合い、絆が育つ二葉の延長保育はその名の通り「めぐみ」だなぁ、としみじみ思いました。まるで実家に帰ったような安堵した表情の子ども達。目を細めて受け入れる先生達。

4月、入学式を終えたピカピカの1年生ご家族が数組遊びに来ました。「なんかほっとする〜」そんな言葉や笑みに私達も喜びが溢れます。入園や進級した子ども達もご家族皆様も、これから歩む道は初めての道。決して急がず、時折立ち止まったり、たまには2ステップ程後ろへ下がったりして、周りの景色を見まわしたり、懐かしい風や光を感じたりして深呼吸。「だいじょうぶ」「神さまはいつも一緒」愛されているしあわせを感じながら、ゆっくり、ともに、歩んでいきましょう。

今年は創立75年を迎えます。非力ながらも園長10年目。不甲斐なさを抱え、尊敬する大門義和牧師が発行していた機関紙「風韻」の束に手を伸ばし一部を取り出すと2015年11月172号。奇しくも私が二葉に導かれた年、月!?!そこに「振出しに戻って歩みだす」とタイトルが。え?読み進めると「責任ある立場の者にとって大切なことは、常に自分の決断が本当に正しいかとの疑問や不安を感じる心である」と。節目毎に神様が道を示して下さるのですがまたもや届いたメッセージ。与えられた言葉を胸に、

2025年も皆様と共に祈りつつ、こどもの園「二葉」を慈しんで参りましょう【園長】